

学校教育目標

一人ひとりの生きる力を高め、進路の保障を図るとともに、豊かな人権感覚を育てる

「一人一人」をかけがえのない
「一人」として尊重する
(人権を通じての教育の保障)

豊かな人権感覚を育てる
(人権についての教育の保障)

○一人一人の置かれている状況から出発する

- ・一人一人がかけがえのない存在として大切にされ、個性・能力の違いを大切にされ、心の居場所のある学級づくり。
- ・一人一人が教育実践の出発点である。
- ・一人一人が自己の素晴らしさを実感できる機会を大切にする。

○全教育活動を通して、全ての人々をかけがえのない人として受け入れる豊かな人権感覚を育てる。

○あらゆる人権問題に対して積極的に向かい合いその解決の方法を探求できる豊かな人権感覚を育てる。

目指す子ども像

- 正しく判断し、行動できるたくましい子ども
- 自ら課題を見つけ、自ら学ぼうとする子ども
- 自分の思いを豊かに表現できる子ども
- 自分を認め、友達の良さを取り入れて高まろうとする子ども
- 目標に向かって、ねばり強く、最後まで取り組める子ども

○ 生きる力を高める

- ・「生きる力のプロフィール」を活用し、具体的な行動目標を設定し、家庭・子ども・学校の三者で連携して取組を進める
- ・発達段階に応じて子ども自らが「生きる力」を意識できるようにする
- ・人間としての生きる力、自らの進路を切り拓き、生き方を探究する力を保障する。

○ 学ぶ力を十分に引き出し、学びに向かう積極的な姿勢を育てる

- ・単元を通して大切にしたい4つの姿（意欲・方法・出会い・波及）を位置づける。
- ・励まし育てるとともに、指導すべきことは指導しきる。
- ・個に応じた指導の徹底を図る。
- ・教科担任制を活用する。
- ・指導に生かす学習評価の充実を図る。
- ・家庭学習の定着と充実（家庭との連携）を図る。

○ 進路の保障を図る

- ・学力定着調査等、様々な調査結果の分析を活用し、個に応じた指導の徹底を通して「確かな学力」を保障する。
- ・指導案を伴う授業の公開をおこない、一人一人の子どもたちに届く授業であったのかを振り返る。
- ・研究プロジェクト（学習指導・読書指導・言語活動）を通して、授業力を高める。
- ・各学年で、基礎的・基本的な学習を徹底して指導する。

**子どもたちの
自主的な学びを目指して**

**生きる力を高め、進路を保障する
(人権としての教育の保障)**

**子どもたちが明日の登校を待ち望む学校、働きがいのある学校
市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を推進する学校**